

**起伏に富んだ多彩な地形
訪れる人を魅了する観光資源の宝庫**
**地図でみる、千年の伝統を誇る都の歴史文化
『京都のトリセツ』を4月26日に発売**

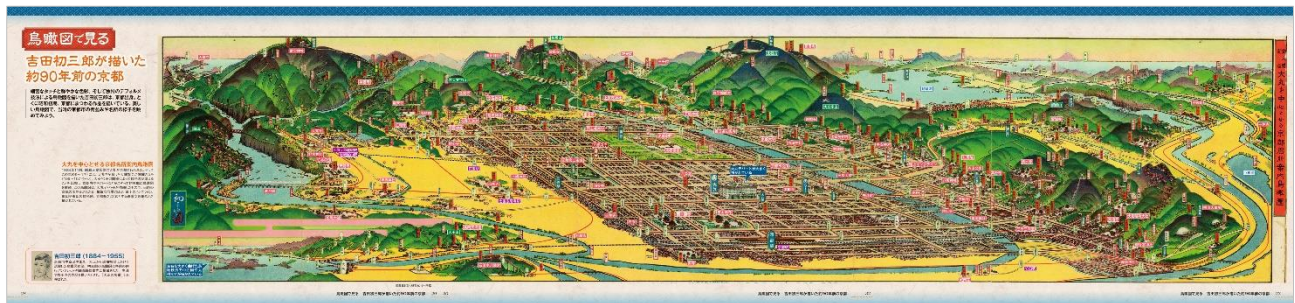
～丹後、丹波、宇治・・・京都市以外の各地が見せる魅力にもぜひ注目を！～

株式会社昭文社ホールディングス（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）とその子会社である株式会社昭文社（本社：千代田区麹町、代表取締役 清水康史、以下昭文社）は、マップエンターテインメント企画本『京都のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話』を、2021年4月26日より発売しますことをお知らせいたします。

地元支持率が高い「トリセツシリーズ」の最新刊となる本書は、日本で一番の著名観光地として名を馳せている「千年の都」京都ほか府内各地を取り上げ、地形や地質、交通、歴史、文化と産業など、多彩な魅力を地図で読み解きながら、京都府のさまざまな特性を探っていきます。



<表紙>



<「鳥瞰図で見る 吉田初三郎が描いた約90年前の京都」代表誌面>

)) 本書の概要 ((

シリーズ共通の構成を用いて、「巻頭グラビア」+「地図で読み解く京都の大地」「京都を駆ける充実の交通網」「京都の歴史を深読み！」「京都で育まれた産業や文化」の4章立てとなる本書は、50以上の小テーマから、京都の本当の素顔に迫ります。地元の方々が親しみやすいご当地ネタはもちろん、全国的に有名な京都の<あれこれ>も収録している、読み応え充分の一冊です。

)) 本書の注目記事 ((

|| 地形編⇒洛中と洛外を区分するために築かれたおどいとは？/奇跡の絶景・天橋立は海流の力でつくられた

◆京都市の中心部と周辺部を区分する「洛中」「洛外」という呼び名がかつて存在していました。その境界を明確にするため、豊臣秀吉は城壁を築かせました。それこそが「おどい（御土居）」です。工事などにより年々数を減らしている「おどい」ですが、江戸時代末期の1864年に描かれた「京都一覽図画」の中では、しっかり存在感を見せていました。



<「京都のトリセツ」地形編ページ例1>

【リリースに関するお問合せ】 株式会社 昭文社ホールディングス 広報担当：竹内、張

TEL：03-3556-8124 | FAX：03-3556-8164

昭文社ホールディングスホームページ

<https://www.mapple.co.jp/>

2021年4月8日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社

◆2021年の大学入学共通テスト「地理B」で撮影地点を問う問題にて取り上げられた天橋立。現在約8,000本にもなる松林の砂浜が、細長い橋のように一直線に伸び、外海と内海を隔てています。千年前からすでに名勝として知られていたこの絶景は、いくつかの自然条件が奇跡的に重なって生まれたものです。



<「京都のトリセツ」地形編ページ例2>



<「絵図で見る天橋立の姿」ページ例>

交通網編⇒若狭湾でとれた鯖を運ぶ物流ルート鯖街道/0番があって1番がない！？京都駅のホームの謎

◆京都の祭りシーズンに欠かせない鯖寿司。その鯖、かつては福井県の小浜より「鯖街道」を通じて運ばれてきた時代がありました。鯖街道は複数あり、最もよく利用されたのが若狭街道でした。この若狭街道は織田信長が浅井長政の裏切りで窮地に陥った「金ヶ崎の戦い」で、越前から京へ敗走する際に通った道としても知られています。

◆観光都市京都の玄関口として大きな役目を担う京都駅は、幾度の変遷を経て不思議な構造だらけとなっています。「0番ホームがあるのに1番ホームがない」「15番～29番のホームもまるまる欠番」なぜそうなったのか、その実態を追ってみることにしました。



<「京都のトリセツ」交通網編ページ例1>



<「京都のトリセツ」交通網編ページ例2>

歴史編⇒丹後に大首長が存在した？三大古墳に隠された謎/応仁の乱で京都は焼け野原に！戦場となったのは一部だけ？

◆京都府内には古墳が約1万3千基もあり、そのうち約6,000基は丹後地方で見つかっています。当時の政治の中心であったヤマト（奈良県）から遠く離れた丹後地方に、そもそもなぜこのような巨大な古墳群が造られたのでしょうか？

◆「京の町一面を焼け野原にした」といわれる「応仁・文明の乱」、実際のところは少し違いました。京都の中心部が戦場となったのは、最初の2年ほどだけでした。全期間を通してみても、下京エリアではほとんど戦乱の形跡は見られませんでした。



<「京都のトリセツ」歴史編ページ例>

2021年4月8日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社

産業・文化編⇒古都のシンボル京都タワーはもともと建設予定がなかった／丹波って、どこですか？
京都と兵庫の自治体の思惑

◆京都駅を出ると、まず目に飛び込んでくる京都タワー。建設当時の京都市の人口に合わせた131メートルの高さや、安全率を考慮した「モノコック構造」、海のない京都市の街並みを照らす灯台をイメージしたデザイン等々、実にこだわり抜いた建物です。なお、タワーを京都のシンボルとするというのは第二の目的で、第一の目的は、飛行機の航行を援助する航空保安施設でした。

◆旧丹波国は、京都府中部（亀岡市、南丹市、京丹波町）と北部（福知山市、綾部市）、兵庫県北東部（丹波市、丹波篠山市）の広範囲に及んでいました。この地方にある自治体の中で、全国区の知名度を持つ「丹波ブランド」をめぐる、議論が続いているのですが、互いに対立しているわけではありません。丹波地方を「大丹波」と命名し、丹波ブランドの農産物 PR や観光振興に共同で取り組む動きに注目です。



<「京都のトリセツ」産業文化編ページ例1> <「京都のトリセツ」産業文化編ページ例2>

)) 主な特集 ((

|| 絶景「空撮」グラビア 空から見た京都

京都府の全37市区町村マップ |

京都府の鉄道路線図 |

|| Part.1 : 地図で読み解く京都の大地

|| Part.2 : 京都を駆ける充実の交通網

|| Part.3 : 京都の歴史を深読み！

|| Part.4 : 京都で育まれた産業や文化

|| Column :

データでわかる37市区町村 vol.1 人口

データでわかる37市区町村 vol.2 観光とその課題

データでわかる37市区町村 vol.3 産業

|| 京都府の凹凸地図 | 鳥瞰図で見る 吉田初三郎が描いた約90年前の京都 | 鳥瞰図で見る 昭和天皇が絶賛した吉田初三郎の京阪沿線絵図 | 鳥瞰図で見る 京都周辺にある歴代天皇・皇族の陵墓 | 古都に伝わる怖い話とミステリー

京都のトリセツ		CONTENTS	
京都府の全37市区町村マップ	1	京都府の全37市区町村マップ	1
京都府の鉄道路線図	2	京都府の鉄道路線図	2
京都府の凹凸地図	3	京都府の凹凸地図	3
Part.1 地図で読み解く京都の大地	4	Part.1 地図で読み解く京都の大地	4
Part.2 京都を駆ける充実の交通網	5	Part.2 京都を駆ける充実の交通網	5
Part.3 京都の歴史を深読み！	6	Part.3 京都の歴史を深読み！	6
Part.4 京都で育まれた産業や文化	7	Part.4 京都で育まれた産業や文化	7
Column 1 データでわかる37市区町村 vol.1 人口	8	Column 1 データでわかる37市区町村 vol.1 人口	8
Column 2 データでわかる37市区町村 vol.2 観光とその課題	9	Column 2 データでわかる37市区町村 vol.2 観光とその課題	9
Column 3 データでわかる37市区町村 vol.3 産業	10	Column 3 データでわかる37市区町村 vol.3 産業	10
京都府の凹凸地図	11	京都府の凹凸地図	11
鳥瞰図で見る 吉田初三郎が描いた約90年前の京都	12	鳥瞰図で見る 吉田初三郎が描いた約90年前の京都	12
鳥瞰図で見る 昭和天皇が絶賛した吉田初三郎の京阪沿線絵図	13	鳥瞰図で見る 昭和天皇が絶賛した吉田初三郎の京阪沿線絵図	13
鳥瞰図で見る 京都周辺にある歴代天皇・皇族の陵墓	14	鳥瞰図で見る 京都周辺にある歴代天皇・皇族の陵墓	14
古都に伝わる怖い話とミステリー	15	古都に伝わる怖い話とミステリー	15
主要参考文献	16	主要参考文献	16
主要参考文献	17	主要参考文献	17
主要参考文献	18	主要参考文献	18
主要参考文献	19	主要参考文献	19
主要参考文献	20	主要参考文献	20
主要参考文献	21	主要参考文献	21
主要参考文献	22	主要参考文献	22
主要参考文献	23	主要参考文献	23
主要参考文献	24	主要参考文献	24
主要参考文献	25	主要参考文献	25
主要参考文献	26	主要参考文献	26
主要参考文献	27	主要参考文献	27
主要参考文献	28	主要参考文献	28
主要参考文献	29	主要参考文献	29
主要参考文献	30	主要参考文献	30
主要参考文献	31	主要参考文献	31
主要参考文献	32	主要参考文献	32
主要参考文献	33	主要参考文献	33
主要参考文献	34	主要参考文献	34
主要参考文献	35	主要参考文献	35
主要参考文献	36	主要参考文献	36
主要参考文献	37	主要参考文献	37
主要参考文献	38	主要参考文献	38
主要参考文献	39	主要参考文献	39
主要参考文献	40	主要参考文献	40
主要参考文献	41	主要参考文献	41
主要参考文献	42	主要参考文献	42
主要参考文献	43	主要参考文献	43
主要参考文献	44	主要参考文献	44
主要参考文献	45	主要参考文献	45
主要参考文献	46	主要参考文献	46
主要参考文献	47	主要参考文献	47
主要参考文献	48	主要参考文献	48
主要参考文献	49	主要参考文献	49
主要参考文献	50	主要参考文献	50
主要参考文献	51	主要参考文献	51
主要参考文献	52	主要参考文献	52
主要参考文献	53	主要参考文献	53
主要参考文献	54	主要参考文献	54
主要参考文献	55	主要参考文献	55
主要参考文献	56	主要参考文献	56
主要参考文献	57	主要参考文献	57
主要参考文献	58	主要参考文献	58
主要参考文献	59	主要参考文献	59
主要参考文献	60	主要参考文献	60
主要参考文献	61	主要参考文献	61
主要参考文献	62	主要参考文献	62
主要参考文献	63	主要参考文献	63
主要参考文献	64	主要参考文献	64
主要参考文献	65	主要参考文献	65
主要参考文献	66	主要参考文献	66
主要参考文献	67	主要参考文献	67
主要参考文献	68	主要参考文献	68
主要参考文献	69	主要参考文献	69
主要参考文献	70	主要参考文献	70
主要参考文献	71	主要参考文献	71
主要参考文献	72	主要参考文献	72
主要参考文献	73	主要参考文献	73
主要参考文献	74	主要参考文献	74
主要参考文献	75	主要参考文献	75
主要参考文献	76	主要参考文献	76
主要参考文献	77	主要参考文献	77
主要参考文献	78	主要参考文献	78
主要参考文献	79	主要参考文献	79
主要参考文献	80	主要参考文献	80
主要参考文献	81	主要参考文献	81
主要参考文献	82	主要参考文献	82
主要参考文献	83	主要参考文献	83
主要参考文献	84	主要参考文献	84
主要参考文献	85	主要参考文献	85
主要参考文献	86	主要参考文献	86
主要参考文献	87	主要参考文献	87
主要参考文献	88	主要参考文献	88
主要参考文献	89	主要参考文献	89
主要参考文献	90	主要参考文献	90
主要参考文献	91	主要参考文献	91
主要参考文献	92	主要参考文献	92
主要参考文献	93	主要参考文献	93
主要参考文献	94	主要参考文献	94
主要参考文献	95	主要参考文献	95
主要参考文献	96	主要参考文献	96
主要参考文献	97	主要参考文献	97
主要参考文献	98	主要参考文献	98
主要参考文献	99	主要参考文献	99
主要参考文献	100	主要参考文献	100

<目次（3ページを合成しています）>

)) 商品概要 ((

商品名 : 『京都のトリセツ』
 体裁・頁数 : B5 変判、本体 128 頁
 発売日 : 2021年4月26日
 全国の主要書店で販売
 定価 : 1,980円 (本体 1,800円 + 税 10%)
 出版社 : 株式会社 昭文社